作成•改定日 2018年3月26日

# 安全 データシート

# 1. 製品及び会社情報

製品

製品名 男前モノタロウ ホワイトボード用マーカー(中字)

会社情報

会社名 株式会社MonotaRO

所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階

担当者名 商品お問い合わせ窓口

電話番号 0120-443-509 FAX番号 0120-289-888 緊急連絡先 所在地と同じ 整理番号 M180404

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分 2

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性 区分 2A 生殖細胞変異原性 区分 1 生殖毒性 区分 1 特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分 3 特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分 3

環境に対する有害性 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示





注意喚起語 危險

ホワイトボードマーカー 2 / 6

危険有害性情報 引火性の高い液体及び蒸気

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ 眠気又はめまいのおそれ

注意書き

【安全対策】 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙

容器を密閉しておくこと。

火災を発生させない工具を使用すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して

いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

【保管】 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

【廃棄】 内容物/容器の廃棄は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に

委託すること。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

一般名ホワイトボードマーカー

#### 組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS No.	官報公示整理番号
顔料	非開示	非開示
エタノール	64-17-5	2-202
イソプロピルアルコール	67-63-0	2-207

#### 4. 応急処置

吸入した場合: 被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移す。保温して安静に保つ。速やかに医師の

診察を受ける。

皮膚に付着した場合: 付着物を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。かゆみや炎症等の症状がある場合は、

速やかに医師の診察を受ける。

目に入った場合: 清浄な水で最低20分間眼を洗浄する。

コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。

炎症が進むようなら眼科医の手当を受ける。

ホワイトボードマーカー 3 / 6

飲み込んだ場合: 意識があれば水でよく口の中を洗浄し、医師の手当を受ける。

無理して吐かせないこと。

最も重要な徴候及び

症状に関する簡潔な情報: めまい、頭痛、酪酊 応急処置をする者の保護: 換気に注意する。

医師に対する特別注意事項: 有機溶剤(エタノール等)に暴露した旨を説明する。

## 5. 火災時の処置

消火剤: 霧状の水、粉末、炭酸ガス消化器を用いる。

使ってはならない消火剤: 泡消化器

火災時の特定危険有害性 : 爆発のおそれがあり、燃焼生成ガス中にはCOx、NOx等が含まれる。

特定の消火方法:特になし

消火を行う者の保護: 消火作業の際には必ず保護具を着用する。

# 6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、 特別個人用保護具(自給式呼吸器)を着用する。

保護具及び緊急時措置:漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

十分に換気を行う。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。

環境に対する注意事項:製品が排水路に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法
ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。

・機材: 大量の流出には盛土で周って流出を防止する。

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

# 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 火気厳禁。電気機材は防爆構造にするほか静電気、スパークなどによる着火源を

生じないようにする。吸入・接触のおそれがあるときは適切な保護具を使用する。

注意事項: 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うことが望ましい。

安全取扱い注意事項: 暴露防止のため、保護具を着用して作業を行う。蒸気の吸入、皮膚への接触を

避ける。

保管

適切な保管条件 : 高温・着火源を避け適切な換気のある乾燥した屋内に密栓して常温(5~35°C)

保管する。

安全な容器包装材料: 金属又はガラス容器。

ホワイトボードマーカー 4 / 6

## 8. 暴露防止及び保護処置

設備対策: 局所排気装置を設ける。

ばく露限界:

化学名	日本産業衛生学会	米国産業衛生専門家会議
		(ACGIH)
エタノール	_	TWA:1000ppm
イソプロピルアルコール	400ppm	STEL: 400ppm
	980mg/m3	TWA: 200ppm

# 保護具

呼吸器の保護具: 有機ガス用防毒マスク

手の保護具:ゴム手袋目の保護具:保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具: 作業衣、安全靴

# 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態(20℃)

形状 : 液体 色 : 黒

臭い: 芳香のある弱い刺激臭

pH : 情報なし 密度 : 情報なし 融点 : -70°C

沸点範囲: 70~120℃引火点: >13℃発火点: >360℃

燃焼又は爆発範囲

上限: 13% 下限: 2%

溶解性

水に対する溶解性: 情報なし溶媒の溶解性: 情報なしオクタノール/水分配係数: 情報なし

# 10. 安定性及び反応性

安定性: 常温で安定

反応性: 常温で安定 危険有害反応可能性: 情報なし

避けるべき条件:高温、高湿

危険有害な分解生成物: 情報なし

ホワイトボードマーカー 5 / 6

#### 11. 有害性情報

以下のデータは、弊社が収集することができた各成分のデータに基づいて分類したデータです。

#### 急性毒性

経口 : LD50 6200 mg/kg Rat (エタノール)、LD50 4710~5840 mg/kg Rat (イソプロピルアルコール)

経皮: LD50 12800 mg/kg Rat (イソプロピルアルコール)

吸入: LD50 20000 ppm 10hr Rat (エタノール)、LD50 72600 mg/l 4hrRat (イソプロピルアルコール)

皮膚腐食性/刺激性: 非刺激性 眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 軽度の刺激 呼吸器感作性/皮膚感作性: 情報なし 生殖細胞変異原性: 情報なし 発がん性: 情報なし 生殖毒性: 情報なし

特定標的臓器毒性(単回暴露): 眠気又はめまいのおそれ

特定標的臓器毒性(反復暴露): 情報なし 吸引性呼吸器有害性: 情報なし

#### 12. 環境影響情報

生態毒性: ニジマス LC50 42mg/l 96 時間(エタノール)、LC50>100mg/l 96 時間(イソプ

ロピルアルコール)、オオミジンコ EC50 2mg/I 48 時間(エタノール)

残留性/分解性:情報なし生体蓄積性:情報なし土壌中の移動性:情報なし他の副作用:情報なし

# 13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う事。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合 には、そこに委託して処理する。

## 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

国連分類: クラス3

国連品名: その他の引火性液体

国連番号: 1993 容器等級: Ⅱ

# 国内規制

陸上規制情報: 消防法の規定に従う 海上規制情報: 船舶安全法の規定に従う 航空規制情報: 航空法の規定に従う ホワイトボードマーカー 6 / 6

輸送の特定の安全対策 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように

及び条件: 積み込み、荷崩れの防止を確実に行い、法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

消防法: 第4類 アルコール類

毒物及び劇物取締法 : 非該当 特定化学物質排出管理促進法 : 非該当

労働安全衛生法 :

名称を表示すべき危険物及び有害物

イソプロピルアルコール (法第57条の1、施行令第18条の2の3)

名称を通知すべき危険物及び有害物

エタノール (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 の 61) イソプロピルアルコール (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 の 494)

# 16. その他の情報

本安全データシートの記載内容は、本製品を適正にご使用頂くために、現時点で入手できるデータ及び情報に基づき、誠意を持って作成致しております。しかしながら、何れの情報もこれを保障するものではありません。全ての化学物質には未知の有害性があり得る上、記載の注意事項も通常の取扱いを前提にしたものなので、ご使用に際しましては、用途や利用方法に応じた細心の安全対策を使用者自らの責任で講じた上でご利用下さい。